

オソロシ沢で恐ろしがるつもりが…

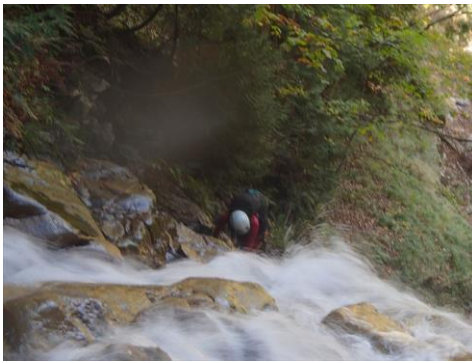
## 奥鬼怒 鬼怒川オロオソロシ沢 ヒナタオソロシノ滝

オロオソロシ沢は、わらじがピタッと吸い付く 5~20mの快適な滝が連続する沢だと何かで読んでから行ってみたいと思っていた。評判のいい日光澤温泉にも泊まってみたい。

ならば、温泉宴会も兼ねて、日陰 (=オロ) と日向の両方のオソロシ沢に行ってみよう。

10月15日 (土) : 晴

女夫漈は夜から朝にかけてとても寒く、寝ていられないほどだった。濡れない沢を選んだものの、3シーズン用のシュラフに包まれているその寒さにくじけそうになったが、それでも日が当たると暖かくなると信じて出発する。女夫漈から日光澤温泉までは1時間半ほどのハイキング。ほどよく体が温まった。



出会ってすぐの滝

日光澤温泉のご主人と柴犬くんにご挨拶を済ませ、日の当たらない登山道に行く。そして登山道が沢から離れるあたりから沢に入った。

オロオソロシ沢は入ってすぐに12mほどの滝があった。いくつか記録を見て「少し悪いのかな？」と思っていたが、階段状になっていて難しくない。それを登りきるとすぐに次の滝。これも易しい。ちょっと嫌な予感が始める私。すぐにまた大きめの

滝が2つあったが、どちらもやはり易しい。それを過ぎたら、沢は平坦になった。

行けども行けども何も無い。確かに地形図を見たときに滝が連続するのは下の方だけだろうと思っただけで、これほど何も無い時間が続くとは思わなかった。「田邊さん、大変！ 何も無い！」「この辺の沢はみんなこんな感じだよ。何を期待してたの？」そんな会話を沢復帰リハビリ期間中の福永さんはニコニコと聞いていた。

暫くしてちょっとした滝を通過したのち、左俣に入る。水はすぐに消え、ガレの登りとなる。少々登りにくいし飽きるの、沢から離れて傾斜がきついが登りやすい尾根を登る。おしゃべりしながら登っていたら、登山道に飛び出した。



日光澤温泉のサンボくん♪

【日程】

2016年10月15日(土)  
~10月16日(日)

【メンバー】

坂村 (L)、田邊、福永

【地形図】

三平峠、川俣温泉

【記】坂村

10月16日(日) :晴

今日はヒナタオソロシノ滝の水源の滝を見学に行く。ここの沢は短かすぎて名前がついていないが、遠目からは大きな滝の景観が楽しめる観光名所だ。素晴らしいという噂の水源の滝が見たかったし、前日は温泉と宴会を心ゆくまで楽しむつもりだったので、行程が短くても「ま・いいか」と思って計画したのだった。

ヒナタオソロシノ滝は大きめの滝が連続しており、いかにも登れないので全て巻いた。けれどどの滝もとても美しく、ここがもう少し沢登り対象として適した沢であったなら…と少し残念に思った。そしてあつという間に水源の滝。遡行時間わずか30分！ だがその滝は、沢を取り囲むように広がっており、ふわふわの苔とのコントラストが美しい。また、滝のあちらこちらから水が湧いていて、その滝の上に沢はない。期待通りの面白い眺めだった。

滝の横の尾根でしばしコーヒー&おしゃべりタイム。「これからどこか観光でもする？」なんて言いながら尾根伝いに下山した。



スタレ状の滝と水源の滝

【グレード】1級上

【行程】 10/15 女夫漕

(6:30) ~日光澤温泉

(9:00/9:30) ~出合 (10:00)

~登山道 (13:30)

~日光

澤温泉 (14:30)

10/16 日光澤

温泉 (8:30) ~出合 (9:00)

~水源の滝 (9:30/10:00) ~

日光澤温泉 (11:30)

